

## 第24回 清川村子ども議会



2月8日、役場庁舎3階・議場で第24回清川村子ども議会が開催されました。

この子ども議会は、未来を担う子どもたちに行政や議会のしくみを学んでもらい、村政や議会活動、村づくりに関心を持ってもらうことを目的としています。

今回の子ども議会は、緑小学校の6年生20人が子ども議員となり、6班に分かれて村政に対するさまざまな提案などを投げかけました。

招集あいさつで岩澤村長は、「11月16日の村長講話の中で、「みんなで考える村づくり」をテーマに、私の思いをお話させていただきました。皆さんが考える夢のある村づくりについて提案をしてください。」と述べました。

皆さんからいただいたご提案と、それに対する村の回答をご紹介します。

問 学校教育課

☎(2088)1215

## 1班

## ラリーのレースを開催したい

**Q** 清川村の立地を利用して、ラリーを開催することで観光客を増やすことを提案します。またラリーに参加している自動車メーカーは、環境に配慮した次世代の自動車の開発も目的としているため、村も協力することで貢献できるのではないかと考えました。

**A** 現在、村では、近隣自治体の厚木市や愛川町、伊勢原市、秦野市、相模原市などと連携して、一つの市町村だけでなく、共同で連携した観光地の魅力づくりを進めています。

ラリーレース開催にあたっては、村が管理する道路だけでは、距離などの課題もあり、コース作りが難しい可能性はありますが、道路延長のある道路を管理する神奈川県や近隣市町と

連携して、コース作りを検討することで、開催に向けた可能性は開けてくると考えます。

広域的な観光事業としての魅力づくりの一環としては、非常に有効な手段であると考えますので、近隣5市町村で広域的な観光事業について検討する広域行政連絡会観光推進専門部会に、1班の皆さんから提案いただきましたラリー競技について提案し、関係者の皆さんと相談していきたいと思えます。



## 2班

## 大きなスポーツ大会を誘致したい

**Q** 自然が多い清川村の良さを活かし、大きなスポーツ大会を誘致することを提案します。

**A** 清川村にある宮ヶ瀬湖畔園地を発着地点として、以前は、東丹沢トレイルレースが開催されてきました。また宮ヶ瀬湖では現在も県内のカヌー大会が開催されています。このような大会が村内で開催されることは、清川村の自然を多くの皆さんに知っていただく良い機会だと考えています。今後実施される際には、村としても支援していきたいと考えています。



スポーツ大会における清掃業務などの運営における人をサポートするロボットの開発や普及については、自由で柔軟な発想をお持ちの、皆さんのような方の力が必要でありますので、実現に向けた今後の皆さんの活躍に期待させていただきます。

## 3班

## ロープウェイをつくり観光客を増やしたい

**Q** 清川村へは、バスや自家用車、バイクを利用して観光に来る方がほとんどですが、そのほかの移動手段として建設費用の少ないロープウェイを建設することを提案します。

**A** 村では、近隣自治体と共同で連携した観光地の魅力づくりを進めています。これは、観光客の方の多くは、一つの場所に魅力を感じて訪れるのではなく、周辺のいろいろな施設や場所に魅力を感じ、行ってみようという方が非常に多いことが理由の一つになっています。



ロープウェイを建設することで、観光客は自然豊かな清川村の景色を見て楽しむことができ、住民の方には生活に利用してもらえると考えました。

通手段として、地域の魅力を感じるができるロープウェイは非常に魅力の高い交通手段であると考えます。村だけでは整備は難しいかもしれませんが、広域的な観光地としての魅力づくりの一環として、広域行政連絡会観光推進専門部に提案し、関係者の皆さんと相談していきたいと思ます。

## 前半の子ども議員の皆さん(敬称略)

<p><b>3班</b></p> <p>山口 華穂</p> <p>二瓶 彩希</p> <p>小室 仁</p>	<p><b>2班</b></p> <p>松永 涼倉</p> <p>平田 訓彦</p> <p>佐藤 希咲</p> <p>小林 優絆</p>	<p><b>1班</b></p> <p>加藤 綺音</p> <p>加藤 ロズリン</p> <p>清水 颯志</p> <p>前田 律人</p>	<p>議長…川口 蒼太</p> <p>書記…岩澤 旺介</p>
--	--	--	---------------------------------

4班

SDGsを心掛ける村にしたい

Q

SDGsの目標「気候変動に具体的な対策を」の達成を目指し、取り組んでいる村として清川村をPRすることを提案します。環境に配慮した取り組みとして、野菜などの不要な部分を活用したお弁当の販売や、ゴミ箱・リサイクルボックスの設置、環境にまつわる内容を盛り込んだ「かるた」を作成することで、住民も観光客も楽しみながら環境にやさしい村にすることができると考えました。

A

日ごろから取り組むクヤマイボトルの活用など、少し意識するだけで生活に取り入れられる目標もたくさん見つかると思いますので、皆さんで清川村の特色を織り交ぜた、「あ」から「を」までを表現する読み札を考えていただければ、



馴染みや親しみも湧き、さらにこのかるたを幼稚園、小学校、中学校で活用すれば、環境学習の教材としても役立つ、SDGsの達成がより進み、身近でSDGsの達成を感じられるのではないかと思います。また皆さんがご家族の方と協力して、「不要になった部分までおらずに使うお弁当」を研究いただき、これだというメニューができれば、村としても協力をさせていただきます。

5班

宮ヶ瀬湖に多目的ドームを作りたい

Q

観光客を増やすために、宮ヶ瀬湖の中に多目的ドームをつくることを提案します。スポーツの試合や音楽のライブを開催することや、宮ヶ瀬湖の中に水中トンネルを作ること、商店街に立ち寄る人も増え清川村が話題となると考えました。

A

宮ヶ瀬湖の湖面の利用については、国と神奈川県、そして宮ヶ瀬湖がまたがっている相模原市、愛川町、清川村の5者間でルールを作って利用していきます。

宮ヶ瀬湖に新しい魅力をつくりたいと考えているので、清川村を含めた5者間で話し合いを進め、実現ができれば皆さんにご報告したいと考えています。また、水中ドームの建設に近づけるよう、4月から中学生になる皆さんには、



建築技術や環境負荷の軽減などさまざまなことに興味を持っていただき、引き続き勉学に励んでもらいたいと思います。面白そうなアイデアがあったら、私が宮ヶ瀬ダム周辺振興財団に提案しますし、村でもできそうなものはどんどん進めていきたいと思いますので、教えていただきたいと思います。

後半の子ども議員の皆さん(敬称略)

議長…佐藤 希咲  
書記…小林 優絆

4班

大矢 和花  
吉川 凜  
西山 心春

5班

岩澤 旺介  
加藤 琉煌  
川口 蒼太

6班

青木 沙奈  
大山 萌代子  
田宮 愛彩

ふれあい動物園を作りたい

**Q** 清川村の森には、多くの動物が住んでいます。その動物たちを身近に見たり、触れたりすることができると動物園を作ることとを提案します。

触れ合うことで、動物の育て方や命の大切さなどについて知ってもらい、動物たちを守ることで、SDGsの目標である「多様な生物が生きられる山地の生態系を確実に守る」の達成につながると考えました。

**A** 清川村に来てくれる観光客を増やすために、「ふれあい動物園を作りたい」の提案はとても良い提案だと思いますが、野生鳥獣は、本来は人間とは離れた山などに生息していて、人間に対する警戒心がとても強いので、懐くことが無く、またいろいろな病気を持っていることが多いの

で、触れ合うことは難しく、野生鳥獣に触れ合えるような動物園を村に作ることは難しいと考えています。

しかし、皆さんから提案をいただきました、動物をモチーフにしたキーホルダーや人形などお土産のアイデアはこれからの参考にさせていただきます。



宮ヶ瀬小学校 ラジオ体操で受賞

宮ヶ瀬小学校が第10回全国小学校ラジオ体操コンクール取組部門で上位から3番目の「かんぼ生命特別賞」を受賞し、1月31日に宮ヶ瀬小学校内で伝達式が行われました。

このコンクールは、主催者の株式会社かんぼ生命保険がラジオ体操をする機会を増やし、健康増進のきっかけにしておらおうと全国の小学校を対象に始まりました。

受賞したラジオ体操は、宮ヶ瀬や湖などの地元になんだ詞を児童たちが考案したオリジナルラジオ体操となっており、楽しく体操する工夫が満載です。

山中校長は「宮ヶ瀬小学校の休校を前に、素晴らしい思い出が一つできた」と受賞の喜びを語りました。

